



第82号



あゆみ

NPO 法人ユーアイやちよ

276-0034 八千代市八千代台西 8-16-1

TEL047-482-4109 FAX047-482-4179

E-mail [ui-yachiyo@mocha.ocn.ne.jp](mailto:ui-yachiyo@mocha.ocn.ne.jp)<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>

## 当法人ご利用者様アンケート(7~8月実施)結果について!!

依頼総数約 390 人中 199 人の方から、お返事をいただきました。サービスの評価は、「満足している」155 通、「おおむね満足している」36 通、「どちらでもない」6 通、「やや不満」と「不満」0 通、未記入 2 通でした。

「仕事が大変丁寧で、会話も楽しくプラス志向で掃除をしていただいている」等、評価していただきましたが、「一方的に決めてから来る」等のご指摘には個々に対応させていただきました。詳細をホームページに掲載していますので、ご覧ください。



## 合同研修会 「利用者の真の心を聴くとは!？」

去る 9 月 19 日、八千代台自治会館中ホールを会場に、「ユーアイやちよ定例研修会」と「語らいパートナーの会定例勉強会」の合同研修会が開催されました。

講師は介護福祉士会理事の松下やえ子氏で、講演内容は準備されたスライドを縦横に駆逐され、非常に分かり易く、確実に迫る高齢化社会に対する地域の役割、個々の役割を具体的に講義して頂きました。

松下講師が、『さて、あなたの寿命が後 1 時間しか…』、『振り返って、あなたの人生はどんな人生だった…』との問い掛けに、一瞬ドキッとしているうちに、松下講師のお話に取り込まれてしまいました。

講演では、年をとれば誰でもなれる認知症、長寿と認知症はセットが基本、地域で生きる地域で活動するために、一度原点に回帰して観ることが必要、人は死ぬ瞬間まで『人生の現役』、人生は『下り坂が最高!』、地域づくりと介護予防、住み慣れた街で心健やかに最後までなど、今後、誰もが体験する課題に対して、取り組みのキーワードが散りばめられていました。自分自身の生活行動はもちろん、サービス(有償・無償)提供者としても今回の内容を熟知し、目の前の方に寄り添って、心の奥に思いをはせることが大切。

何となく認知症に対する不安を感じる年齢になって、松下講師のお話の中で、「人は何のために生きるか?」と言う問いに、「人は幸福になるために生きて行く」、そのための「きょういく」は、「今日、行く所=居場所」、「きょうよう」は「今日、用がある=出番」であり、誰が認知症になっても、誰かの役に立つことが幸せだと、語られた言葉が強く印象に残った講演でした。(小林)



9/19 研修風景 (会場一杯)

## 地域懇談会に参加しましょう!

八千代市・八千代市社会福祉協議会は、10月19日から11月24日に渡り、市域を7つの圏域に区分し地域懇談会を開始しています。地域懇談会は、「地域福祉計画及び地域福祉活動計画」策定のため、地域の皆さんから意見や考え方を頂き、計画への反映を行う目的で開催されるものです。

今後予定されている地域懇談会は、大和田、八千代台、陸奥、勝田台、高津・緑が丘の5圏域です。(阿蘇、村上是開催済み) 地域懇談会の開催日時、開催場所等についての問い合わせ先は、次の通りです。 問合せ先：八千代市社会福祉協議会 域振興課 (Tel 047-483-3201)

### 八千代市地域福祉シンポジウムに参加して！！

『ともに支え合い、ともに生きる わがまち八千代市』をテーマとした講演会（9/21：市民会館）に、戸田さんと一緒に参加しました。当日、基調講演（淑徳大：山下興一郎先生）の後、パネルディスカッションでは、ユーアイやちよの利用者である小林健一氏がパネラーとして参加されました。小林氏はスライドに合わせて、自分の生い立ち、日中の在宅での生活などを、一言一言身体から絞り出すような言葉で話され、聞いていて引き付けられました。

市民活動で行われるマラソン大会に毎年参加され、ゼッケン番号は、申し込み順だそうで、スライドに映し出された小林氏のゼッケンは、10001番で、介助者とガンバっている写真が映し出されました。一番になりたくても、努力して出来ることと出来ないことがあると淡々と話されましたが、その言葉の中に、小林氏の頑張りや悔しい思いがあると、胸に響いて来ました。

小林氏にとって入浴は至福の時、スライドには満面の笑みで、気持ちよさそうな小林氏が映し出されました、ちなみにユーアイやちよが入浴のお手伝いをさせて頂いております。また、小林氏は、作業所でボルトの組み立てを行っており、作業を通じ社会との繋がりや貢献を感じて居るとも話されました。

「みんな違って、みんな良い！」のタイトルをスライドで示し、小林氏は、自分を信じて、みんなを信頼して、道を切り開いて行きましょと語られました。小林氏の言葉からは、障害者だからと、自分を卑下する姿勢は全く感じられませんでした。返って常に挑戦し続ける強い気持ちが伝わって来ました。基調講演、パネルディスカッションの講師の方々のお話を聞いて、仕事で一杯一杯だった私に、『意欲』と言う栄養を頂きました。（登根）



### おれんじカフェ3周年公開イベント！！

7/6(土) 於：少林寺勝田台道場

- ・宮沢功様の「車椅子の夫が妻を介護」のお話にはみなさん、ほろりともらい泣き！
- ・横尾様の三味線演奏では会場が参加者の歌声で溢れました。

・当ユーアイやちよスタッフの「ユマニチュード」を取り入れた寸劇は笑いを誘い



- ・島津誠治様からはカフェの盛りだくさんのメニューやお菓子とコーヒーを楽しみ、毎回参加されているお話
- ・そして包括支援センターの武田所長からは、地域サロンの役割についてお話を頂きました。（大木）



### 介護職員特定処遇改善加算算定

介護職員の確保と定着を目的に、これまでの処遇改善に加え、キャリア（経験・技能）のある介護職員に対して、更なる処遇改善策（介護職員等特定処遇改善加算）が導入されました。

ユーアイやちよにおきましては、サービス提供責任者の処遇改善を中心に、ヘルパーさんにも手当として支給することにしました。加算の内容については、定例会でお知らせ済みですが、加算算定の内容は、職場環境等要件の取り組みとして、ホームページ等で『見える化』することになっています。是非、当法人のホームページ（情報公開）に掲載していますので、一度ご覧ください。



### 八千代市ゲートキーパー養成講座に出席して

8月1日、八千代市いのちを支える街づくりプランの一環で、『八千代市ゲートキーパー養成講座』に参加しました。当日の講師は、東京成徳大学石崎教授でした。(ゲートキーパーとは自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応のできる人のことを言います)

人との関係を築き、コミュニケーション作りに欠かせないのが『聴く力』。「相手が何を伝えようとしているのか?」「何の問題を抱えているのか?」等を上手に聴くことにより、見えてくるのが沢山あるとのことでした。相手のストレスが、溜まり過ぎていないかを評価し、その事象に対処するため、必要なソーシャルサポートをして行くことになるが、その方法には、「情緒的サポート」「情報的サポート」「具体的サポート」「評価的サポート」等があり、ストレスが溜まりすぎると、バーンアウト、シンドローム(燃え尽き症候群)になり、休職・離職に繋がることになる。そのためには、『聴く』ことが大切である。気持ちが伝わる聴き方の基本姿勢は、相手の気持ちになって、ありのままに受け止め、共感(無条件の肯定的配慮)が重要であることを学びました。講義に引き続き、聴き方の基本技法など、ロールプレーを行いました。

なお八千代市の自殺者は、特定に性別・年代において、全国平均を大きく上回っているとの報告がありました。現在ユアアイやちよが取り組んでいる傾聴ボランティアを始めとして、「気づき、傾聴、つなぎ、見守り」が重要な視点だと改めて感じるとともに、傾聴の輪を世代を超えて、もっと広げることが求められるような、ある意味で危機的時代になっているのだと思いました。(山崎)



#### ～ ヘルパーのリレーメッセージ ～ 三浦 京子さん

- \* ヘルパーとしての勤務期間 ⇒ 12年(ユアアイやちよで1年半)
  - \* 好きな言葉 ⇒ 『明日は明日の風が吹く』
  - \* 仕事にあたって心がけていること  
⇒ 今できることを、思いやりをもって精いっぱいやること
  - \* 利用者さんから教えて頂いたこと ⇒ 『「情けは人の為ならず」という言葉
  - \* うれしかったこと ⇒ 『感謝される仕事よ、頑張って!』と言われました。  
とても嬉しかったです。
  - \* 仕事以外の楽しいこと ⇒ 孫と遊ぶこと、スポーツ観戦(主にテレビ)  
特に格闘技、買い物
- 次回は、佐野文子さんです!



微笑みの輪

#### 雇用管理責任者講習(8/28実施)を受講して(講師:栗原 知女氏)

今回の講習内容は、「介護労働者のメンタルヘルスケア」と、「介護事業所における人材育成とキャリア形成」でした。

人はストレスを受ける(危険が身に迫る等)と、鼓動が早くなったり、手に汗をかいたりしますが、それは身体がストレスを避けたり、戦ったりする準備のためだそうです。職場では、逃げ出したり戦ったりすることは出来ませんので、自分の中に溜めてしまうこととなり、結果として心や体調、行動の変化が生じることとなります。

ストレスを溜めないでおくことは、簡単なことではありませんが、職場では管理者や同僚がストレスの軽減に繋がるよう、互いにケアし合うことが大切になります。そのためには、単にアドバイスや批判をするのではなく、まずは相手の気持ちを知るため、素直な気持ちで傾聴することが最も大切なことだと思いました。(網干)



### 千葉県たすけあい協議会コーディネーター研修会に参加して！

9月28日に『千葉県たすけあい協議会コーディネーター研修会』が開催されました。県内からケアマネ、社協担当者、たすけあいボランティア、学生など約50名が参加し、活動の報告とグループごとの熱心な討論がされました。

当日は、講師の山下興一郎氏から、支援計画を作成する上で、留意すべき事項として5項目『①本人・家族の生きる力（強さ）、②地域社会の支える力（社会資源）、③対象者の尊厳を保つ（その人らしさを尊重する）、④今置かれている状況を的確に把握・分析する、⑤過去、現在、未来の座標軸で見る』について説明が行われました。

グループでの検討では、DVを受けて離婚した母（要支援）と父親のDVを見て心に傷を持っている不登校・引きこもりの三人の子供達、そして片付けの出来ないゴミ屋敷状態の室内というケースが取り上げられました。事例提供者からは、今後とも母親が介護保険非該当になった時、助け合いサービスだけでも、信頼関係を築きながら子供達に掃除等を教えて行きたい旨の報告がありました。

また、今日の多様な家族の形の中で、どのように助け合い支えたらよいか、関係機関とも連携しながら、利用者家族がどのような状態で、地域の関わりが必要な人に対し、どのような立場で関わり支援するのかを、改めて問いかけられた有意義な研修でした。（末次）



#### 【行事報告】

7～8月 ご利用者様アンケート

7/6 おれんじカフェ3周年記念イベント

7/12 「精神疾患を抱える家族との関わり方」介護サービス事業者協議会研修

7/18 定例会「食中毒と感染症予防」研修

8/1 八千代市ゲートキーパー養成講座

8/28、10/29 雇用管理責任者講習

9/19 定例会「ほんとうの心を聴くとは」研修

9/28 助け合い協議会コーディネーター研修

#### 【今後の予定】

11/20 11月定例会 研修「認知症の方への介護」

11/21 「語らいパートナーの会」定例勉強会  
令和2年

1/16 「語らいパートナーの会」定例勉強会

1/18 従業者新年会



これまでのホームページを今年五月にリニューアルしました。NPO法の改正により、**貸借対照表をホームページで閲覧出来るようにするとともに、スマートフォンでも表示が出来るスタイル**としましたので、是非一度ご覧ください。  
なお、不備等にお気づきの場合には、ご連絡をお願いいたします。

ホームページリニューアルのお知らせ

#### 台風15号、被災地へお見舞い

ユーアイやちよ会員（職員・傾聴ボランティア会員）と、「ふれあいサロンやちよ北」の関係者により、今回の災害に対する募金として、28,000円集まりましたので、9月24日に安房郡鋸南町へ、災害義援金として送金させて頂きました。御協力ありがとうございました。

また、9/19研修会の講師を務めて頂いた松下やえ子さんから、当日お支払いただいた交通費について、全額ご寄附頂きました。ありがとうございました。



「あゆみ」

発行人 NPOユーアイやちよ 網干 勝

☎ 047-482-4109 E-mail : ui-yachiyo@mocha.ocn.ne.jp